

平成24年度第3回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会

日時 : 平成24年10月17日(水) 18:00~19:20
場所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
構成員 : 8名
出席者 : 7名
佐村 博範(琉大病院)、宮里 浩(那覇市立病院)、照屋 淳(北部医師会病院)、八幡 浩信(中部病院)、川満 博昭(宮古病院)、増田 昌人、仲本 奈々(琉大病院)
陪席者 : 呉屋 葉子(琉大病院)

[報告事項]

1. 平成24年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について
平成24年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について承認された。
2. 地域連携クリティカルパス適用件数について
10月17日現在、沖縄県がん診療連携拠点病院3施設においてがん地域連携クリティカルパス適用数が113件であることが報告された。
3. 次期沖縄県がん対策推進基本計画について
事務局より、次期沖縄県がん対策推進基本計画(協議会案)の内容について、25年度は調査を行い、26年度は調査結果から現状を定めて指標を決めることに変更したことが報告された。また、事務局とがん政策部会でがん計画について頂いた意見を計画に盛り込む作業を行うので、出来上がった最終案を部会委員に確認して欲しいと依頼があった。

[審議事項]

1. 今年度事業計画の実施について、以下の対策を行うこととなった。
施策1 『がん診療を行っている医療機関には診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では患者調査を行い実態を明らかにする。』
⇒医療機能に関する調査は既に県と合同で調査を行ったので済んでいる。『八重山・宮古・久米島・北部では患者調査』については、がん患者数、紹介数を院内がん登録を用いて対応し、数値を見てから、アンケートについては検討することとなった。
施策2 『拠点病院に難治がんや希少がんの対応状況に関するアンケート調査を行う。』
⇒県と合同で行った沖縄県医療機能調査の結果で希少がんの現状を把握することとなった。
施策3 『一般向けに、私のカルテのチラシを作成し広報する。』
⇒既に実施済みであることが報告された。

施策4 『がん地域連携クリティカルパス研修会を企画開催する。』

⇒3月までに各施設それぞれ院内研修会を行うこととなった。また、離島でも1回開催することとなった。

施策5 『新たな疾患のパスの作成』

⇒今年度中に子宮がんWGで子宮がん地域連携パスを作成することとなった。

施策6 ①～⑥ 『がん地域連携パスの運用、改訂、評価、各施設の運用強化を行う』

⇒クリティカルパスの運用数を増やすためにも、大腸がんと胃がんの化学療法の連携パスを作成することとなった。但し、化学療法を含むことから、院内および連携施設に対し教育が必要なため、各施設で院内研修会を行い対応することとなった。また、胃がんの診療計画表と経過表について、かかりつけ医が記入する欄がないことから、胃がん作成WG委員に確認して対応することとなった。

施策7 『地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する』

⇒県医師会の総会で、部会委員が地域ネットワーク部会の活動報告を行うこととなった。但し、資料は事務局で作成することとなった。

2. 次回の開催日程について

平成25年1月9日(水) 18:00を予定していることが報告された。